



JAPAN CULTURAL EXPO

Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

令和2年度日本博イノベーション型プロジェクト
助成：文化庁/独立行政法人日本芸術文化振興会

「世界に向けて」

岡山の情景を 音楽で語る旅

The Journey of
JAPANESE
LEGEND
— MOMOTARO STORY —

ピアノ・作曲／山地真美

指揮／柴田真郁

管弦楽／岡山フィルハーモニック管弦楽団



～音楽と映像と語りてたどる～ 桃太郎伝説が生まれたまち おかやま



[1部]

岡山城と後楽園を巡って

ピアノ+オーケストラを中心にした、
岡山をテーマに、音と映像で楽しむ演奏会

[2部]

日本遺産の旅「桃太郎伝説が生まれたまち おかやま」

世界発信に向けたピアノ+オーケストラ+英語での語りによる、
岡山の歴史探訪。

日時：2021年2月4日(木) 19:00開演
(18:00開場)

場所：岡山シンフォニーホール大ホール

チケット 全席指定 1,500円

※未就学児童の入場はお断りいたします。また、小学生以上の場合には入場券が必要です。
※やむを得ない事情により、曲目、出演者が変更となる場合があります。
※今後の感染状況により、対策を追加及び変更する場合がございます。

主催：(公財)岡山文化芸術創造(2020年4月1日に(公財)岡山シンフォニーホールから名称が変わりました)

共催：(公社)岡山県観光連盟、(公社)おかやま観光コンベンション協会

協賛：(公社)おかやま観光コンベンション協会、岡山市温泉協同組合、おかやま城下町物語実行委員会、(株)岡山コンベンションセンター

後援：日本遺産「桃太郎伝説」のうまれたまち推進協議会、岡山県、岡山市、倉敷市、総社市、赤磐市、岡山商工会議所、岡山経済同友会、岡山県商工会連合会、岡山県経営者協会、岡山県中小企業団体中央会、岡山カルチャーゾーン連絡協議会、山陽新聞社、RSK山陽放送、OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、KSB瀬戸内海放送、RNC西日本放送



はるか昔、
Once upon a time,

まだ岡山平野が「吉備の穴海」と呼ばれる内海だった頃・・・。
when the Okayama Plain was still inland sea, called "Kibi no Anaumi",

岡山の地には、当時一大勢力を誇った吉備国が存在したといわれています。
It is said that there was a huge force "Kibi country" in Okayama.

さあ、語り継がれてきた物語の世界へといきましょう
Shall we get into the story that has been handed down?



～音楽と映像と語りてたどる～ 桃太郎伝説が生まれたまち おかやま

The Journey of JAPANESE LEGEND — MOMOTARO STORY —

吉備地域は、～「桃太郎伝説」の生まれたまち おかやま～として、平成30年度に日本遺産登録されました。「桃太郎伝説」は、いにしへの「吉備」の国を舞台に伝わる「吉備津彦命による温羅（鬼）退治」が後世に引き継がれ、日本昔話「桃太郎の鬼退治」として国内のみならず、東南アジアまで広く語り継がれています。この地域には、古代朝鮮式山城「鬼ノ城」や複数の史跡、国宝吉備津神社本殿を有する吉備の中山、そして弥生時代に造営された、近畿の天皇陵古墳に匹敵する古墳群など後世に残すべき優れた文化遺産と自然景観を有しています。また城下町岡山のルートである城下町エリアは、日本三名園の後楽園と、豊臣秀吉の五大老の一人である宇喜多秀家により、その全容が築かれた、戦国時代末の代表的な城郭である岡山城、そして人工的な河道付け替えを行った旭川を中心に、歴史的景観と文化的価値を有し、全国的にも有数の観光地となっています。

本公演は、岡山県出身の情景描写ピアニスト山地真美と、県下唯一のプロオケである、岡山フィルハーモニック管弦楽団の共演により、先人が築き大切にしてきた貴重な文化と歴史資産をストーリー化し、創作音楽と英語での語りて表現するものです。ドローンを駆使した映像表現も加え岡山の自然と歴史文化の価値をリアル体験するとともに、その魅力を国内外に発信していきます。

Program

【1部】岡山城と後楽園を巡って

Piano & Orchestra

●岡山城と後楽園

・岡山城と後楽園の情景を描く『暁、時うつす蒼の水』

●岡山城

・岡山城主 宇喜多秀家の生き様に迫る『生きる』

・秀家と豪姫、つらぬいた夫婦愛『紅の想い／蒼い約束』

●後楽園

・幻想庭園の月夜を想って『幻園の彩り』

・空を優雅に舞う丹頂鶴の放鳥『鶴は舞う』

【2部】日本遺産の旅「桃太郎伝説が生まれたまち おかやま」

Piano & Orchestra & Tell a story

・吉備津彦の伝説をテーマに『光華光源』



ピアノ・作曲/
山地真美

出身地岡山各地を中心に、日本各地の情景や歴史をテーマとした作曲活動に力を入れており、第25回イブラランドプライズ国際音楽コンクール（伊）に出場。作曲部門にて名賞及び、倉敷美観地区をテーマとした楽曲「裏葉柳」が審査員特別賞を受賞。

瀬戸内国際芸術祭2019では宇野港オープニングアクトを担当。渋谷パルコのリニューアルオープン時にはDiscover Japan Lab.にてピアノ演奏。G20保健大臣会合では歓迎レセプションにてピアノ演奏。

イタリア・アメリカ・コスタリカ・中国等での海外公演でも日本の魅力を音楽と映像で発信している。

第一回福武教育文化賞受賞。オカヤマアワード2018特別音楽賞受賞。



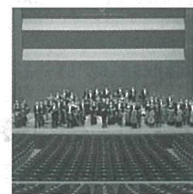
指揮/
柴田真郁

1978年東京生まれ。国立音大音楽科を卒業後、藤原歌劇団、東京室内歌劇場等で指揮者として研鑽を積む。

03年に渡欧、ドイツ各地で研鑽を積みながら、04年にウィーン国立音大マスターコースでディプロムを取得。バルセロナのリセウ大歌劇場ではアシスタント指揮者を務め、様々な上演に携わった。

10年には再度渡欧し、イタリアの劇場を中心に研鑽を積んだ。帰国後は主にオペラ指揮者として活動。近年では管弦楽にも力を入れている。

2010年五島記念文化財団オペラ新人賞（指揮）受賞。



管弦楽/
岡山
フィルハーモニック
管弦楽団

1991年岡山シンフォニーホールの開館を機に文化庁の補助を受けて、岡山にゆかりのあるメンバーを中心に優れた演奏者で構成された岡山県初のプロオーケストラ、岡山フィルハーモニック管弦楽団を1992年に創設。以来、定期演奏会をはじめ、若い演奏家の育成事業、青少年の情操教育に資する事業、子育て支援や地元演奏団体との共演等、地域における音楽芸術振興の中心的役割を担っており、公演回数は年間100回を超えている。

2013年より岡フィル初の首席指揮者としてハンス・イェルク・シェレンベルガー氏を招き、岡山独自の音楽スタイルをもつ「おらがまちのオーケストラ」と皆様から誇りと愛情をいただける楽団へと成長すべく挑戦を続けている。

プレイガイド

岡山シンフォニーホールチケットセンター 086-234-2010
岡山県音楽文化協会 086-224-6066

入場料:全席指定1,500円

チケットぴあ (188-720) <https://t.pia.jp/>
上記アドレスからのインターネット限定販売(無料会員登録必要)となります。

ローソンチケット (62309) 0570-084-006

WEB 岡山シンフォニーホールチケットWEB予約 <https://www.okayama-symphonyhall.or.jp/ticket-re/>

お願い

●発熱・せき等の風邪症状がある場合は、ご来館を自粛ください。 ●感染防止のため、ご来場の際はマスクの着用(咳エチケット)にご協力をお願いいたします。
●液体せっけんによるこまめな手洗いをお願いいたします。アルコール消毒液も設置しておりますのでご利用ください。 ●密集しやすい場所では間隔を空けてお並びください。